

練馬区みどりの基本計画の改定について

1 改定に向けた視点

(1) 上位および関連計画からの課題

右の計画で明らかにしている取組を位置づけ推進する必要がある。

みどりの風吹くまちビジョンおよびアクションプラン

区政改革計画

練馬区都市計画マスタープラン

(2) 現計画の実施状況から見た課題

実施状況

- 事業は一定程度進捗しているが、民有地のみどりの減少傾向を緩和するには至っていない。
- 区民協働および環境学習の取組が遅れているものの、着手し始めている。
- 未実施事業については、原因を精査し、見直しや廃止を含め検討する。

目標設定

枠組み

- 施策の柱や個別事業と大目標の関係がわかりにくい。
  - 事業数が多く、重点的に取組むものを設定していない。
  - 目標値が全区的数値となっており、区民生活の何が変わるのかは表現できていない。
- 施策の体系
- みどりの実態は地域により異なるが、地域別の方針を定めていない。
  - 主体となって取り組むのは、区なのか区民なのか区民協働なのか整理されていない。

(3) 区民評価から見た課題

- みどりの地域特性や地域住民の特性（人口構造やライフスタイル等）により、区民のみどりに対する満足度が異なる。
- 区民実感に結びつくようなみどりの機能に着目した「みどりの質」の評価をしていない。

改定のポイント

- (1) 将来像を設定するとともに、10年間の計画期間を設定し、将来像の実現に向けて、計画期間に実行することを明らかにする。
- (2) 施策の柱・重点的に取組む施策、成果指標を設定し、達成度を評価できるようにする。
- (3) (1)(2)により、総合計画および10年間の事業計画の両方の性質をあわせ持つ計画とする。
- (4) 地域ごとのみどりの特性や区民意識の違いを踏まえ、地域別の方針を追加する。地域別の方針については、地域ごとに重点的に取組むべき施策を示す（成果指標は示さない）。

2 前回委員会での主なご意見

(1) 施策の体系に関するご意見

- みどりの質の評価指標と施策・事業との関係の整理が必要である。
- 目標を多数にすることで、かえって評価しにくくならないよう整理が必要である。

(2) 目標や施策に関するご意見

- 区民満足度は、総合的指標として重要である。  
満足度の要因の分析を進め、生活に即したものに近づけるべきである。
- 開発の影響、バランスも踏まえ、絵に描いた餅にしないことが重要である。
- 協働の取組が遅れた原因を分析し、今後の取組内容を検討していくべきである。
- 区内での国や都の計画も踏まえ、国や都と連携する視点を入れるべきである。

(参考) 改定スケジュール

年度	平成28年度												平成29年度																			
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3										
緑化委員会		●			●			●		●		●		●		●		●		●		●										
		諮問	将来像、基本方針等の検討												まとめ	施策の柱、実施施策等の検討												公表	答申	パブリックコメント	区民意見の反映	基本計画改定